

片平まつりで避難所体験イベントを行いました（2023/10/7）

テーマ：難所所体験、間仕切りシステム、防災グッズ、非常食
会場：東北大学災害科学国際研究所（仙台市青葉区）

2023年10月7日、東北大学において片平まつり2023が開催されました。このイベントは、東北大学の研究所やセンターでの研究内容を紹介するために、展示・体験などのコーナーを中心に隔年で一般公開されており、今年はコロナ禍をはさみ2017年以来、6年ぶりの対面開催となりました。

当研究所においても、部門ごとに様々な企画を持ち寄りしました。災害人文社会研究部門からは、村尾修教授（国際防災戦略研究分野）、村尾研究室学生、坂茂建築設計スタッフが運営メンバーとして参加し、「僕たちの災害時避難所空間をつかって、避難所生活を体験してみよう！」と題した避難所体験会を実施しました。

当日は午前・午後各4組、合計8組の家族が参加して下さいました。はじめに東日本大震災以降使われている、避難所システムについて説明しました。その後、建築家の坂茂特任教授（客員）（国際防災戦略研究分野）が設計し、プライバシー保護を目的として、近年避難所で広く利用されている、「紙管と布を使った間仕切りシステム」を子供たちと一緒に楽しく組み立てました。また、非常食をおいしくするための簡単レシピの提案や防災キャンプグッズについても紹介しました。

最近では、災害時と平時を分けないフェーズフリーの概念（普段利用している商品やサービスを平常時だけでなく非常時にも役立つようにデザインしようという考え方）も主流になってきています。今後、実際に防災キャンプを行い、被災時にも生活の質を向上できるような防災教育に携わりたいと考えています。



避難所システムの説明



間仕切りシステムとその説明



間仕切りシステムの組み立て



非常食と防災グッズの紹介